
情報 I No. 06

情報技術の進展

年	1	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第1章 情報社会の問題解決 8. 情報技術の進展と社会の変化を考えよう

【実習1】内閣府の Society5.0 のビデオを視聴しようドローンを飛ばすプログラミングを体験しよう。
(準備編)

◇手順1 授業の準備をする。

・当日のグループ分けは以下のようになります。

プログラミングの機器は各自に1台ずつ、実行するドローンはクラスに1台与えられます。

グループ	出席番号	グループ	出席番号
1	1, 7, 13, 19, 25, 31, 37	4	4, 10, 16, 22, 28, 34
2	2, 8, 14, 20, 26, 32	5	5, 11, 17, 23, 29, 35
3	3, 9, 15, 21, 27, 33	6	6, 12, 18, 24, 30, 36

1. ドローンを飛ばすプログラミングを体験しよう。(授業編)

【作業1】導入の話をメモしよう

導入の話 (5~10分) ・話の内容をメモしよう 箇条書きで3行程度	
プログラミング操作説明 (10分程度)	・別紙プリントで確認しよう ヒント わからないときはそのまま入力しよう (半角・0と○など区別) ヒント うまくいった人はうまくいかない人に教えてあげよう
プログラミングを実行 (25~30分)	・プログラミングを端末に入力→カードにプログラムを書き込む カードをWifi 端末に差し込み、ドローンを飛ばしてみる ・課題①ができたなら、②とできるところまで段階的に進めていく
アンケートに記入	・別紙アンケートに感想を記入してください

2. プログラミングを行いドローンを飛ばす技術は、社会にとってどのような可能性があるだろう。

【作業1】インターネットを使って活用事例を調べよう（2つ事例を書こう）

活用例	活用することで解決する社会の問題

【作業2】活用事例を参考に、活用できそうなアイデアを交換しよう。（3つ考えよう）

活用アイデア	活用することで解決する社会の問題

☞考えるヒント：活用例をヒントにその普及を提案してもよい

防災や災害現場で、新たなサービスとして、3つアイデアを相談して書こう

【知識の整理】

① (Society5.0) の到来

1) 社会の発展の歴史

- ・ Society1.0 (狩猟社会) = 自然に任せ、動植物の狩猟や採集で生活する社会
- ・ Society2.0 (農耕社会) = 自然に働きかける農耕により生活する社会
- ・ Society3.0 (工業社会) = 産業革命以降の工業を経済活動の中心にした社会 (18世紀)
- ・ Society4.0 (情報社会) = 情報通信技術を生かし、工業社会をより高度化した社会

↓ 課題：地方の格差・高齢社会、情報の探しにくさ、共有が不十分・・・

2) () = 情報通信ネットワーク・高速コンピュータを活用して
経済発展と社会的課題の解決を両立する社会

- ・ () = 人とモノがつながる技術 (例) IoT家電、遠隔医療
- ・ () = 言語理解や推論、問題解決などをコンピュータに行わせる
(例) 自動運転技術、ドローン技術、混雑予測
- ・ () の活用 = 大量のデータを収集、AIで分析し活用
(例) 位置情報を使った混雑情報

② 情報社会の未来と問題解決

- ・ 今後の社会 = 定量的な仕事はロボットやAIが代替？
- 新たな価値を創造する (価値創造型) 問題解決能力が求められる社会に

【振り返り】 2回の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを箇条書きで書きましょう。

☞3行以上

--